

It must be a wonderful day today

THE ICLEEN KONNO NEWS

Sure, it's important to give everything you do all you've got. But sometimes you also need to let yourself relax.

平成二十五年十月二十五日発行 / 編集人：原 淳 / 御意見・御要望は ガルーンにて「社運を賭け、一斑が帰ってきた号」

第一班が帰ってきた!!



▼編集人です、下のほうからこんにちは。当社が目指す理想の会社像、それを具現化した「本物」の会社三社をまとめて目の当たりに出来る凄いい機会、アイクリン黒坂所長曰く、「こんのグループ・社運プロジェクト」、いよいよ始まりましたね。これから一ヶ月余りかけて、全社員が学びに赴くわけですが、満を持して出かけた第一班は、一昨日、多くの学びとともに無事、帰って参りました。▼これから研修に向かう二班・三班のみなさんは、研修先の三社は、どんな会社なのか？勤務されている方々の想いは？「他喜力」とは？等々、DVD資料だけでは物足らず、事前に知っておきたいこと、予習したいことが、沢山あると思います。是非、先行した一班の「仲間」に聞いてみて下さい。目を輝かせて、あれもこれも教えてくれる筈です。「本物」に触れた人の熱気に、あてられちゃって下さい。「舌」で美味しかったことはさておき、「心」で美味しかったことを是非、聞いてみましょう。昨日ガルーンでお知らせした「一斑朝礼」の動画視聴と併せて、今週末の二班の方々には特に、ウォーミングアップをお願いします。▼今回の第一班にご同行頂いた、古紙ジャーナル社本願様から、大変嬉しい、御礼のメールを頂戴しましたので、紙面掲載致します。

原 淳様

お世話になります。

昨日は貴社の社員研修旅行に同行させて頂き、ありがとうございました。

兼匠食品工業様、伊那食品工業様の二社ともに素晴らしい会社で、想像以上に得るものがありました。社員をとても大事にしているという点が、共通するところでしたが、全社員でこうした企業に研修に行けるこんの社員の方々も、幸せだと、感じていました。

古紙業界における同業経営の場面においても参考となることも多く、多岐に刺激を受けるのではないかと思います。拙野社長や専務にもよろしくお伝え下さいませ。今後ともよろしくお願ひいたします。

本願様